

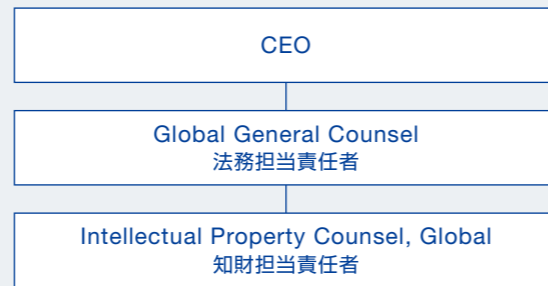
## 知的財産活動

# 知的財産活動

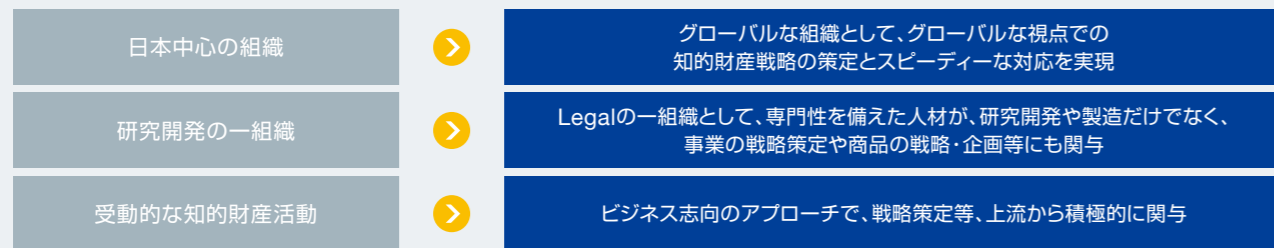
### 基本的な考え方と組織体制

当社の知的財産部門は、2021年よりグローバル法務部門の一組織であり、グローバルな組織として位置づけられています。それまでは日本を中心とする、各地域の研究開発の一組織でしたが、組織変革により、専門性を備えた人材がグローバルな視点で知的財産戦略の策定や迅速な対応を実行できるようになりました。また、研究開発や製造のみならず、事業の戦略策定や商品の戦略・企画等にも関与し、上流から関わる仕組みを構築しています。法務担当責任者の下、技術、法律、経験を備えた専門性豊かなチームにより、質の高い知的財産ポートフォリオを構築することで、競合他社への優位性の確保、市場におけるリーダーシップ

の維持を目指しています。現在、知的財産管理の国際基準 (ISO56005) を遵守する仕組みの構築を目指し、取り組みを進めています。法務担当責任者は年1回、取締役会に報告を行い、必要に応じて適切な対応を講じています。



### 2021年以降の変革



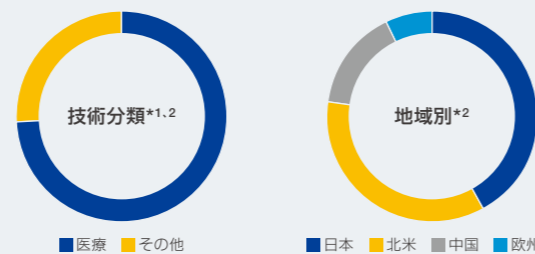
企業価値向上のため、グローバルかつ全社での知的財産の創出が重要

### 将来の成長を見据えた知的財産への投資

当社は知的財産に関して、経営戦略に沿ったグローバルな視点で、プロアクティブかつ戦略的な投資を行っています。特許の出願は医療分野への集中を図り、その中でも戦略的な重要性を踏まえて、効率的に特許出願を行っています。グローバル・メドテックカンパニーを目指す中で、競合他社との分析にも注力しており、当社独自開発の機械学習ツールを用いることで、将来的な特許の強さを予測しています。これにより、特許ポートフォリオをリアルタイムに評価でき、質の高い特許出願に注力しています。また、特許の権利期間は20年と長いため、主要市場だけでなく、ポテンシャルの高い市場での出願も積極的に行い、将来的な成長も見据えた活動を行っています。2020年より、当社にとって重要な市場である中国を専門とする知的財産部門を設置し、中国における強い特許ポートフォリオの構築に取り組んでいます。

さらに、新しい技術やビジネスモデルの出現や将来的な訴訟の可能性等も考慮して、戦略的により広い範囲の特許保護を確保することも行っています。保有している特許についても、戦略と照らし合わせ、取捨選択を行い、維持費用の適正化を図っています。

特許の保有件数 (約20,000件\*2)



\*1 国際特許分類に基づき集計しています。Medicalは特許技術コード「A61」、Generalは特許技術コード「H04N」を含んでおります。必ずしも「医療」と内視鏡事業・治療機器事業の特許保有件数は一致しません  
\*2 2022年3月現在。2022年よりオリンパスグループにおける特許保有件数を集計しています

### 戦略策定から知的財産の視点を反映

新規プロジェクトを検討する際、知的財産部門より、マクロ視点や注目領域に特化した特許分析レポートを提供しています。これにより、知的財産の視点を考慮した戦略策定が可能となりました。さらに、事業とも議論しながら、新規プロジェクトの優先順位や事業戦略に沿って、特許出願の方針を決定しています。知的財産部門が早くから関わることで、商品企画・設計の

フェーズにおいて、事業からの顧客ニーズや市場情報を発明に有効活用するようにしています。そうして生まれた発明を、特許出願できるようにサポートし、価値ある発明を生み出すことを目指しています。

また、新規プロジェクトに関わらず、特許分析を専門に行っている部隊が事業と常にコミュニケーションを図っており、専門的な見地からのアドバイスを提供するようにしています。

### 部門横断的に知的財産の知識を向上

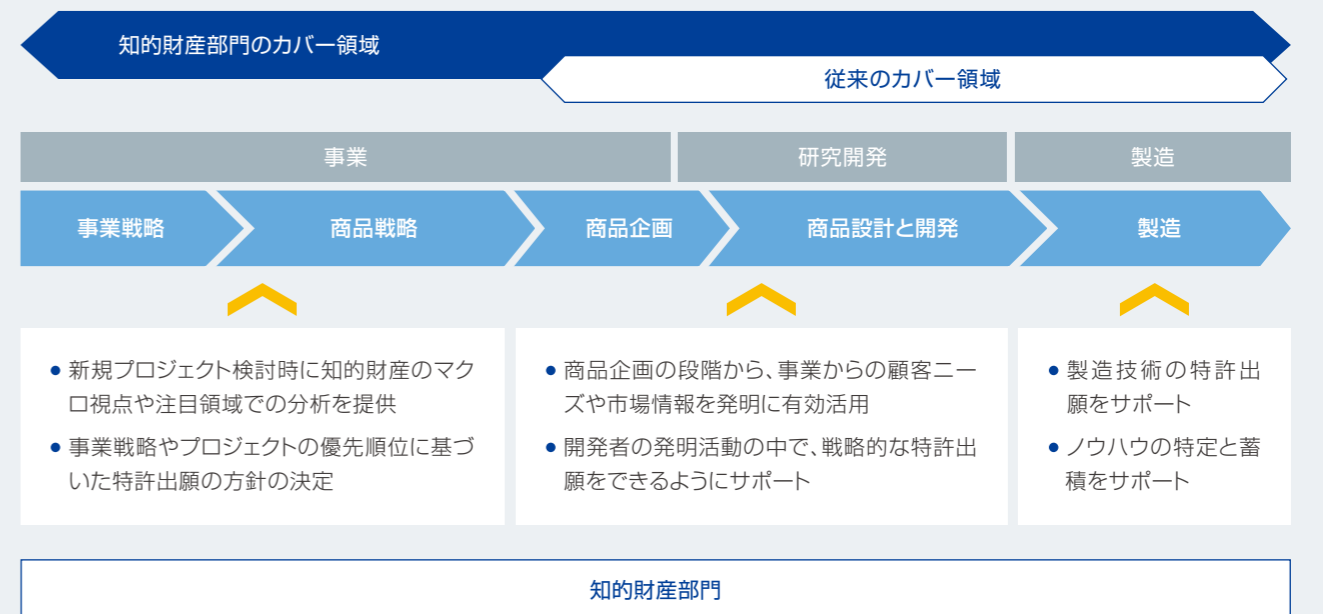
知的財産部門には、従業員教育を統括する組織があり、グローバルな教育プログラムの開発と研修を行っています。社内の知財リテラシーを向上することに加え、社内のネットワーク構築を目指し、取り組みを進めています。

全社の経営戦略に沿って、知的財産の観点から企業変革が円滑に進むことを目的として、研修プログラムを実施しています。例えば、研究開発部門に対して知的財産法の基礎教育や、発明提案の高品質化を目指したプログラムを実施してきました。最

近はこれらに加えて、知財訴訟のリスク低減に向けて、研究開発部門に対して、より具体的なリスク管理に関する研修を開始しています。事業に対しても、戦略策定などにおいて重要な知的財産に関するリテラシー向上に向けたプログラムを開始しています。

知的財産に関する動向が目まぐるしく変化する中、常に従業員が最新動向や自社の立ち位置を把握していることが重要です。月に1回、研究開発および事業の全世界の従業員にレポートを配信し、常に知的財産の最新情報をアップデートすることで、事業活動に幅広く反映できるように取り組んでいます。

### 知的財産部門と他部門との関わり



### 定期的なコミュニケーションを実施

- 特許分析を専門に行っている部隊が常に事業とコミュニケーションし、専門的なアドバイスを提供
- 研究開発・事業の全世界の従業員に月1回、知的財産の最新動向を共有するレポートを配信
- 従業員への教育を定期的に行う